

敬老会は中止に 商品券等配布で還元

10月16日、中須田町内会では、町内会役員が敬老者宅を訪問し商品券を配布しました。

例年9月下旬から町内各地で行われる敬老会は、コロナウイルスの影響で全て中止となったため、各町内会は趣向を凝らし商品券や饅頭などを配布し、敬老者へ日頃の感謝の意を表しました。

中須田町内会高橋昌平会長は「今年はコロナウイルスの影響でお祝いの会は開催出来なかったが、来年は皆でお祝いしたい。少しではあるが敬老を祝すため商品券を配布した。」と話していました。



上高で活動開始 子供服を難民へ送る

上ノ国高校では、海外に関する取り組みを行う「KEEP」のメンバーを中心に、不要となった子供服の回収活動を行っています。

これは、ユニクロとGUが行う「届けよう、服のチカラプロジェクト」の一環で、着なくなった子供服を回収して、難民の子供など世界中で服を本当に必要としている人々に届ける活動です。

KEEPリーダーの斉藤藍音さん（3年）は「コロナの影響で一般宅へ回収に行けないが、出来るだけたくさん集めたい。」と話していました。



河北小5・6年生が 森の観察会

9月28日、河北小学校5・6年生が、総合的な学習の一環として森林利用のサイクルを学ぶ「森の観察会」に参加しました。

観察会は、北海道指導林家の菊地時男さん（字大留）と木育マイスターの澤谷敦さん（字大留）の指導のもと、果実の採取や虫の観察、ドローンを使用した森林観察などを行いました。

田中優愛さん（6年）は「ドローンを使って鳥の目線で山を見れたのは良かった。鳥は思っていたより低い位置を飛んでいることがわかった。」と話していました。



滝沢小と河北小で サツマイモ掘り

10月16日に河北小学校、19日には滝沢小学校で、学校の裏庭で栽培したサツマイモを収穫しました。

このサツマイモは、6月上旬頃に認定農業士であり河北小学校OBの森啓介さんと片石唯乃さん、滝沢小学校OBの齋藤寿さんが、それぞれ母校の児童に植え付けから指導して栽培したものです。

滝沢小学校の木村響さん（6年）は「マルチ剥がし等、今後役に立つ事を学べた。サツマイモ掘りは楽しかった。」と話し、収穫したサツマイモは約2ヶ月寝かせ甘みが増す12月頃に食べるそうです。

